

報告第3号

大規模下水道管路特別重点調査について

令和7年1月28日に埼玉県八潮市で発生した下水道管の破損に起因する道路陥没を受け、3月18日に国土交通省より全国市町村の下水道管理者あてに下水道管路の全国特別重点調査の実施要請があり、国の調査対象としましては、下水道管管径が2m以上でかつ、1994年（平成6年）以前に設置された下水道管となっております。

野田市では、その他の路線も追加し、最終的に旧野田市内における12の路線（雨水幹線）9,505mを対象として、調査員が下水道管の中に入って目視で確認する潜行目視調査を行い、損傷具合の程度により緊急度判定を実施しました。

緊急度判定を行った結果、緊急度判定Ⅰについては五駄沼幹線、南部1号幹線および南部幹線の3路線において確認され、延長としては683m、箇所としては25箇所となります。

主な状態としては、取付管口の破損、および初期の施工不良によるコンクリートの一部破損や浸入水が挙げられます。

緊急度判定Ⅱの箇所については12路線中10路線で確認され、延長としては4,821m、箇所としては229箇所となります。

主な状態としては、こちらも同様に取付管口などの破損と浸入水が挙げられます。

管渠調査後に、緊急度判定Ⅰ、Ⅱの箇所については空洞調査を実施しており、道路上より空洞探査車を走行させて道路下の空洞の有無を確認しております。

現在、空洞調査結果の整理、および今後の修繕計画をまとめているところでございます。

管路本体については、直ちに崩落するといった状態ではなかったものの、緊急度判定Ⅰについては速やかに、緊急度判定Ⅱについては5年以内での対策の実施を予定しており、令和8年度は1,000万円の予算を計上しております。

調査延長集計表

単位（m）

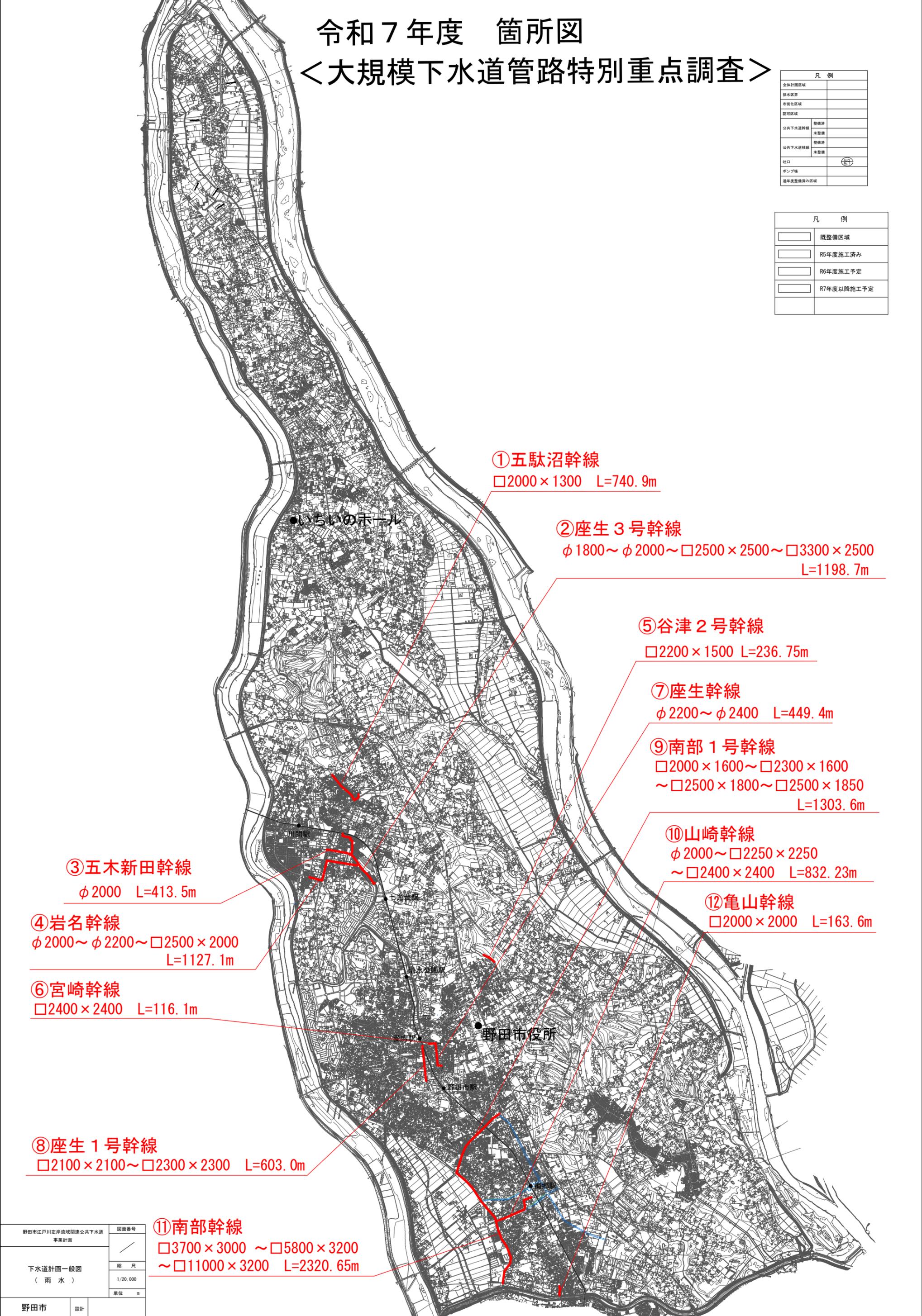
	全調査延長	国の要請により実施分	野田市で追加実施分
調査延長 潜行目視	9505.53	8392.75	1112.78
緊急度判定Ⅰの延長	683.55	313.25	370.30
緊急度判定Ⅱの延長	4821.25	4658.35	162.90
空洞調査等延長	5504.80	4971.60	533.20

令和7年度 箇所図

<大規模下水道管路特別重点調査>

凡 例	
全体計画区域	
排水区界	
市街化区域	
認可区域	
公共下水道幹線	整備済
	未整備
公共下水道枝線	整備済
	未整備
蛇口	（蛇口）
ポンプ場	
過年度整備済み区域	

凡 例	
（白）	既整備区域
（浅黄）	R5年度施工済み
（黄）	R6年度施工予定
（赤）	R7年度以降施工予定



①五駄沼幹線
□2000×1300 L=740.9m

②座生3号幹線
φ1800～φ2000～□2500×2500～□3300×2500
L=1198.7m

⑤谷津2号幹線
□2200×1500 L=236.75m

⑦座生幹線
φ2200～φ2400 L=449.4m

⑨南部1号幹線
□2000×1600～□2300×1600
～□2500×1800～□2500×1850
L=1303.6m

⑩山崎幹線
φ2000～□2250×2250
～□2400×2400 L=832.23m

⑫亀山幹線
□2000×2000 L=163.6m

③五木新田幹線
φ2000 L=413.5m

④岩名幹線
φ2000～φ2200～□2500×2000
L=1127.1m

⑥宮崎幹線
□2400×2400 L=116.1m

⑧座生1号幹線
□2100×2100～□2300×2300 L=603.0m

⑪南部幹線
□3700×3000～□5800×3200
～□11000×3200 L=2320.65m

野田市江戸川左岸流域関連公共下水道 事業計画	図面番号 —
下水道計画一般図 (雨水)	縮尺 1/20,000
野田市	設計